

# 市長が事実上の答弁拒否

## 北山日 本市議団長の追及に

### 大阪市議会

橋下徹大阪市長が3月の出直し市長選で再選された後、初めて開かれている5月大阪市議会。14日の本会議で日本共産党の北山良三団長が一般質問に立ちましたが、橋下氏が一言だけの答弁を繰り返したため、本会議が中断する異常事態となりました。「大阪都」構想が行き詰まる中で、事実と道理に基づいた質問にまともに答弁できない姿を浮き彫りにした格好です。

## 本会議中断の異常事態に

### 見通しのない都構想

北山氏は最初の質問「出直し市長選にはまったく大義がなく、税金の無駄遣いだった」と「明確に反省すべき」と求めました。

橋下氏は、日本共産党議員団に「社会人としての礼儀をわきまえない若造議員が一人いて、議場でいらんできたたり、えへらえへらと人を小馬鹿にしたような笑い顔をしたり、ぶつぶつ言う」などと質問と関係のない発言を行い、「ちゃんと教育してもらわない限りは非礼な態度で返させてもら

北山氏は出直し選の投票率は史上最低の23・59%、無効票は過去最高の6万7506票、11年市長選の得票から半減したことを示し、「都」構想の設計図を作らせてくれ」などという橋下氏を「市民が後押しした」どころか、「市民の批判が増幅された」と強調。「大阪都」構想は法定協



一般質問に立つ日本共産党の北山良三団長  
=14日、大阪市議会本会議場

については反省していない。僕が嫌なら対立候補を立てて落とせばいい」などとうそぶきました。

問題点が噴出しており、「市民や議会の合意形成

### 共産党大阪市議団が見解

日本共産党大阪市議会議員 橋下氏は「若造議員」の「非礼な態度」は極めて主観的で一方的な決め付けだと指摘しています。橋下氏が答弁冒頭でこの議員が「僕と論戦したことがない」と発言したことも事実と反しており、「確かめもしないで、本会議の場でこのような発言をすること自体、許され

## 極めて主観的で一方的 あってはならない態度

果として本会議での「答弁拒否」と同じで、議会制民主主義の結果、橋下氏は撤回する態度は示したものの、議員団や当事者への謝罪がないことについて、あらためて抗議。議員団として、事実と道理に基づいた、正々堂々とした論戦をいっそう強めることを確認し合ったとしています。

の見通しがまったく立っていない」と迫りまし

き詰まりを認め、出直し市長選の結果を謙虚に受け止め、「都」構想はきっぱり断念し、撤回すべきだ」としました。

### カジノ誘致はやめよ

橋下氏が「大阪の最大の成長戦略」として、刑法で禁じられているカジノを中核とした統合型リゾート(IR)を誘致しようとしていることについて、北山氏は「ギャンブル依存症や家庭崩壊を招くなど社会問題を引き起こす恐れが指摘されている施設の誘致で大阪の経済と街が健全に発展するわけがない」と批判。IR誘致へ新たな鉄道や高速道路建設などの基盤整備にはく大な税金を投入するのはやめるべきだと主張しました。

橋下氏が「税投入だけでやるつもりはない」と述べて降壇したのに対し、北山氏は「民間事業者がカジノをつくるが、『税投入だけでやるつもりはない』とは、税投入はやると言っているわけだ」と指摘しました。橋下氏は梅田・関空の所要時間を1分短縮する